

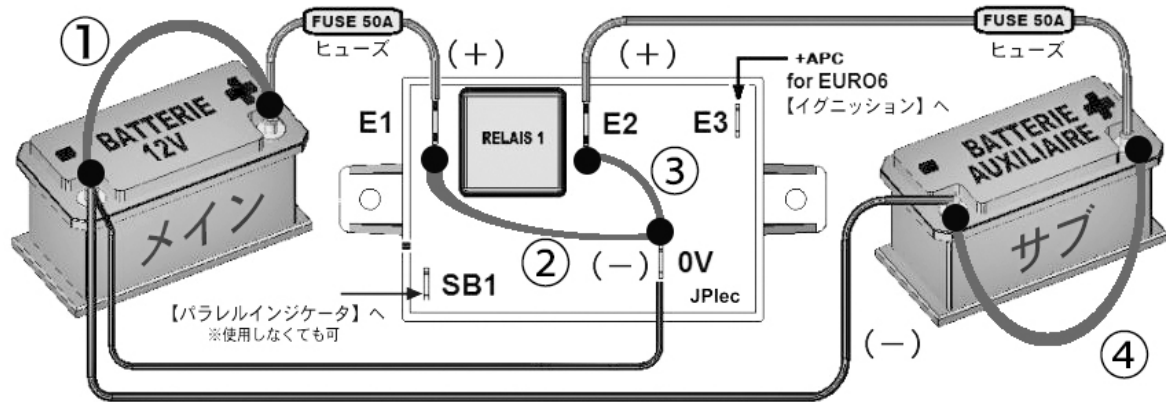
【バッテリーセパレーター・トラブルシューティング】

問題	原因	対策
バッテリーが充電されない。	オルタネーターからの電圧が十分でなく規定電圧に達しない。	○配線、アース、オルタネーターをチェックして下さい。（規定電圧に達しない車種があります。）
	セパレーターのリレーが働いていない。（規定電圧に達しても並列に接続されない）	○配線、アース、オルタネーターをチェックして下さい。 ○過放電したバッテリーが原因でリレーが損傷しているかもしれません。セパレーターの交換が必要です。 （過放電したバッテリーをつないだままエンジンをかけると瞬間大電流が流れ、リレーが損傷します。セパレーターとメインバッテリーの間にヒューズを入れ、セパレーターを保護して下さい。）
	片方のバッテリーが11V以下に過放電している。	○過放電したバッテリーをチャージャーで充電するか、新しいバッテリーに換えて再試行して下さい。
カチカチと連続音がする。（※長時間この状態にあるとリレーが損傷します）	規定電圧に達しても並列に接続されない	○配線、アース、オルタネーターをチェックして下さい。 ○アイドリング状態でアクセルをふかしてして下さい。 ○過放電したバッテリーをチャージャーで充電するか、新しいバッテリーに換えて再試行して下さい。

※ セパレーターを正しくお使い頂くために以下の点をお守りください。

- アースの接続：アースは車のシャーシーではなく、バッテリーのマイナスから直接取ることをお勧めします。
- コネクターの接続：コネクタがしっかりと接続されているか、コネクターの前後の電圧が同じであるか確認してください。
- 配線の太さ：配線の太さは5～6スクエアミリを目安とし、それ以上細いものは使わないで下さい。
- バッテリーの過放電：サブバッテリーが完全に放電している時、エンジンをかけるとセパレーターに大量の電流が流れ、セパレーターに害を及ぼします。メインバッテリーとの間に必ずヒューズを入れセパレーターを保護して下さい。またサブバッテリーを完全放電しないよう常に注意して下さい。「ボルテージセキュリティ」との併用をお勧めします。

【点検方法】



オルタネーターで充電中・フル充電近くになって

- 図の①と②の電圧を計って下さい。両方の電圧が同じでなければなりません。（ $\geq 13.8V \pm 0.1V$ ）
もし電圧が違う場合、バッテリーとセパレーター間の配線に問題があります。
- 図の②と③の電圧を計って下さい。両方の電圧が同じでなければなりません。（ $\geq 13.8V \pm 0.1V$ ）
- もし電圧が同じなら「並列接続」されています。その状態でセパレーターのアースを着けたり離したりしてリレーの「カチッ・カチッ」という切替え音がすれば、セパレーターは正常です。

チャージャーでサブバッテリーを充電中・フル充電近くになって

- 図の④と③の電圧を計って下さい。両方の電圧が同じでなければなりません。（ $\geq 13.8V \pm 0.1V$ ）
もし電圧が違う場合、バッテリーとセパレーター間の配線に問題があります。
- 図の③と②の電圧を計って下さい。両方の電圧が同じでなければなりません。（ $\geq 13.8V \pm 0.1V$ ）
- もし電圧が同じなら「並列接続」されています。その状態でセパレーターのアースを着けたり離したりしてリレーの「カチッ・カチッ」という切替え音がすれば、セパレーターは正常です。